



## 太陽光発電所稼働

田名部組、八工大所有地で

八戸市の総合建設業・田名部組（田名部智之社長）と山形市のコンクリート圧送業・ヤマコン（佐藤隆彦社長）の合同会社「はちのへプロジェクト」が、八戸市金浜地区に建設していた太陽光発電所（メガソーラー）2カ所が完成し、稼働を開始した。21日には現地

で記念式典が行われ、関係者約40人が完成を祝った。

完成したのは折場沢発電所と北ノ沢発電所。昨年11月に着工して、総事業費14億5千万円。合計約130平方㍍の敷地に合わせて約1万6千枚のパネルを設置、発電設備容量は計497.8㎾。年間発電量は計約

54.2万㎾時で、一般家庭約1400世帯分の使用量に当たる。国の再生エネルギー固定価格買い取り制度で東北電力に売電、年間売上高は1億7千万円を見込

ギー固定価格買取制度で東北電力に売電、年間売上高は1億7千万円を見込む。

建設場所は八戸工業大学の所有地で、20年の賃借を受けた。田名部組とヤマコンは発電事業を通して八工大と連携を深める方針で、収益からの寄付、大学の各種プロジェクト支援などを

検討しているという。

メガソーラー事業の展開は田名部組が3例目、ヤマコンは初めて。両社は10年ほど前から交流があり、今回初めて共同でメガソーラー事業に取り組む。

式典後の取材に、佐藤社長は「本事業を機に温暖化防止など社会貢献に取り組む」、田名部社長は「地域の中小企業が持つ可能性を本事業で示す」と意気込みを語った。（若松清巳）